

		公表	保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		アプリ児童デイサービス高島平2号館						公表日	R 8年3月1日		
						利用児童数	31	名	回収数	27	名
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1	0	0	・広々と動けている	利用児童の成長を鑑みると広さはいくらでも欲しい。一人当たりの㎡数は規定通り。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	1	0	1	・手厚い	規定以上の人員配置はしている。安全面を鑑みると増やすことが出来れば支援の幅も広がる。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1	0	2	・どこに何があるか、分かりやすい	扉開閉の印をつけることや、扉の隙間に指ストッパーをつけることで、怪我のリスクを未然に防げている。			
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	0	0	0	・とてもきれい ・室内がとても明るくよい空間	児童がのびのびと過ごせるよう、なるべく障害物は置かないような配置をしている。清掃に関して、日々の清掃にてその日の汚れはその日に奇麗にするようにしている。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1	0	0	・気持ちが落ち込んでいる時にクールダウンのやり方を教えてくれている ・いつも丁寧な面談で対応してくれる	日々の変化を情報伝達し合い、常に理解できるよう努めている。今後はより密な連絡を取り、支援の幅を広げていきたい。			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1	0	0	・気持ちは落ち込んでいる時にクールダウンのやり方を教えてくれている ・いつも丁寧な面談で対応してくれる	不明点がないよう、説明とわかりやすい仕組みを検討していく。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1	0	1	・気持ちは落ち込んでいる時にクールダウンのやり方を教えてくれている ・いつも丁寧な面談で対応してくれる	面談は半年に一回だが、変化のある場合や互いの相談が必要な場合はその都度面談していく。			
9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0	・気持ちは落ち込んでいる時にクールダウンのやり方を教えてくれている ・いつも丁寧な面談で対応してくれる	児童の目標などの成長に合わせていつでもサービス計画の見直しと変更を行うようにする。				
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	2	0	2	・公園に行くなどの外遊びや調理レクなどが増えるとより ・イベントなど多く楽しんでいる ・レクの種類が多くいろいろな経験をしている ・休日や誕生日会など特別感があるのも嬉しい	日替わりで集団レクリエーションを変えている。休日などの施設にいる時間が長い日は日々のレクリエーションとは違ったプログラムを組み込んでいる。				
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	5	2	12	・アプリ1号館さんのお友達との交流は体験させていただき ・本人の記憶にも残ったようで児童館や地域の他のお子様との交流もあるとまた、より良い刺激をもらえると思う ・利用日が少なく普段は分からぬ	以前は地域の児童館を訪れる機会、区内中学生ボランティアによる施設訪問があったが、コロナ以降出来ていないのが現状。今後については職員間でも話し合いをし、検討していく予定。				
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0	・わかりやすく説明をてくれた	契約時にご説明させていただいている。複雑なものもあるため、不明点等ある場合は再度説明する。				
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	1	0	0	・わかりやすく説明をてくれた	面談後にご自宅にお持ちするもの。説明方法等、より理解していただけるような方法を模索し、理解していただけるよう説明をしていく。				
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	5	5	5	・まだ経験したことがないためわからない ・面談で個人的にお話することで十分	現在行っていませんが、希望があれば三者面談等開催することが出来る。ご希望の方はご相談ください。				

保護者への説明等	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	2	0	0		連絡ノートへの記載・送迎時での対人での引継ぎ・急を要する場合は電話やメールを使ってご連絡している。職員間の共有に関しては、引継ぎノートの活用・朝礼や検討会を行っている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	3	0	0	・行ってくれている	面談は半年に1度だが、変化のある場合や互いの相談が必要な場合はその都度面談をしていく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	0	0	0		出来る限り寄り添い共感的な支援を行えるよう努める。問題提起や相談などいつでも受け付けています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	8	9	・まだ経験したことがないためわからない こんな会があれば参加したい ・参加の知らせがきていない	以前は施設内イベント等を介して、保護者を招き見学をしていただく機会もあったが現在は行えていない。方法を変えた連携を見つけていく。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	0	0	1	・連絡したことをすぐに対応してくれている	定期的な連絡は出来ている。相談や申入れがある際は、いつでもご連絡いただき、対応していく。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	0	・連絡したことをすぐに対応してくれている	連絡ノート・面談に加え更に配慮を持った伝達方法を模索していく。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	7	1	5	・連絡帳に知らせててくれている	自己評価に関しては、施設として集計後、本社へ送付、本社からホームページへ公開している。活動内容などは、当施設のみではないが本社監修のもと、ホームページを公開している。
非常時等の対応	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1	0	0		個人情報は全て事務所内鍵付き書庫に保管している。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	0	0	2	・連絡帳に知らせててくれている	年に3回の防災訓練を実施。その他マニュアル類は全て用意されており、それに従って訓練を行っている。保護者の方に周知することが出来ていない為、改善していく。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1	1	2	・連絡帳に知らせててくれている	年に3回防災訓練を実施している。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	1	0	0		安全確保に関しては、様々な視点で職員間で話し合い、安全に通所していただけるよう、努めている。
満足度	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1	0	0		当該児童のご家庭の都合などに十分配慮しながら、出来る最速のタイミングにて報告できる様努めている。安心して通所していただけるよう、包み隠さず起きた出来事に関してお伝えしていく方針。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	26	1	0	0	・とても安心している	怪我の安心、心の安心、預ける安心、等々様々な安心を感じられる施設となるよう、職員一同常に考え話し合い、成長できるよう努める。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	0	0	0	・とても楽しみにしている	当施設独自のレクリエーションやイベントを、楽しみながら成長できるよう、プログラムをより多く考え、工夫していくみたい。
	29 事業所の支援に満足していますか。	27	0	0	0	・とても満足 ・時々行われる食育イベントはお弁当を持参しなくて済むため共働きにはありがたい。子どもを作る・食べる等の経験はプラスになっている	支援だけではなく、全てにおいて満足していただけるように、常に職員一同全員で考え、お子様の成長を感じられるよう努める。